

令和6年度 公民科「政治経済教養」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	3年 政治経済教養
教科書	政治経済（実教出版）	副教材等	政治経済 資料集

1 学習の到達目標

<p>1. 民主政治の本質について学習し、政治についての基本的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p>2. 現代経済の機能を理解するとともに、経済についての基本的な見方や考え方を身に付ける。</p> <p>3. 政治経済における基本的な理解を踏まえながら、現代の政治・経済の諸問題について主体的に考える。</p> <p>4. 問題演習を通して知識の定着を図る。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	現代の経済	現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資本主義社会について理解する。</li> <li>○社会主義社会について理解する。</li> <li>○市場経済の機能について理解する。</li> <li>○生産の仕組みと企業について理解する。</li> <li>○国民所得と経済成長について理解する。</li> <li>○金融と財政の仕組みについて理解する。</li> </ul>	<p>○身の回りの経済活動に興味を持ち、日常生活と経済を結びつけて考えることが出来る。【関】</p> <p>【思】</p>	
	5					中間考査
	6	現代の国際経済	現代経済の福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本経済の発展について理解する。</li> <li>○産業構造の変化について理解する。</li> <li>○日本経済現状について考える。</li> <li>○消費者問題について考える。</li> <li>○公害防止と環境保全について考える。</li> <li>○雇用と労働問題について考える。</li> <li>○社会保障と福祉について考える。</li> </ul>	<p>○日本経済の歴史や日常生活に結びついた経済における諸問題について関心を持ち、主体的に考えを深めることが出来る。【関】【思】</p> <p>○国際社会における諸問題を理解し、今後の日本のあり方を考えることが出来る。【知】【思】</p>	
	7		現代の国際経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>○貿易と国際収支について理解する。</li> <li>○国際経済体制の変化について理解する。</li> <li>○発展途上国の諸問題について考える。</li> <li>○地域的統合と新興国の台頭について理解する。</li> </ul>		
				期末考査		
学期	月		学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	9	現代の政治	民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民主政治について考える。</li> <li>○世界の政治体制の特徴を理解する。</li> </ul>	<p>○民主主義のあり方について考え、今後の政治体制のあり方を考えようとしている。【関】【思】</p> <p>○日本国憲法の内容を理解し、憲法に対する考えを深めることが出来る。【思】【知】</p>	
	10		日本国憲法の基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大日本帝国憲法の特徴と日本国憲法が成立するまでの流れを理解する。</li> <li>○日本国憲法の基本原則を理解する。</li> <li>○基本的人権のあり方について考える。</li> <li>○平和主義と自衛隊のあり方について考える。</li> </ul>		
			中間考査			
	11	現代の政治	日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国会、内閣、裁判所の役割について理解する。</li> <li>○裁判員制度を含めた司法への参加について考える。</li> </ul>	<p>○日本の政治機構の仕組みを理解することが出来る。【知】</p> <p>○選挙について関心を持つ事が出来る。【関】</p>	
12	現代社会の特質と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方自治や住民自治など身近な政治参加について理解する。</li> </ul>			
			現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>○政党政治と選挙について理解する。</li> <li>○世論と政治参加について理解する。</li> </ul>	<p>○国際社会について</p>	

				<ul style="list-style-type: none"> <li>○世論と政治参加について理解する。</li> <li>○国際関係と国際法について理解する。</li> <li>○国際連合と国際協力について理解する。</li> <li>○国際政治の動向について理解する。</li> <li>○国際社会における日本の役割について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際社会について学んだことをまとめることが出来る。</li> </ul> <b>【技】</b>
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	現代政治・経済の諸課題	現代日本の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少子高齢化とコミュニティの活性化について考える。</li> <li>○変化する日本の雇用と、産業の在り方について考える。</li> <li>○エネルギー問題と環境問題について考える。</li> <li>○世界の紛争について理解し、今後の国際社会における日本の立場と役割について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本や世界における諸問題を考え、積極的に解決に向けた糸口を見つけ出すことが出来る。</li> </ul> <b>【関】【思】</b>
	2		国際社会の諸課題		
	3				
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技能	現代世界の社会事象についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける事が出来たか。社会事象を理解するのに必要な資料の収集、活用、表現法といった技能を身につけることが出来たか。調べたことをわかりやすく工夫してまとめることが出来たか。
思考・判断・表現	現代社会の様々な事象を捉え、主体的に課題を見いだすことが出来たか。資料などの根拠に基づいた考察の方法を身につける事が出来たか。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会の社会事象について、関心を高めることが出来たか。意欲的に学習活動をしていたか。よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度が身につけられたか。

### 4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>○関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。</li> <li>○定期考査の他、授業中の発問に対する発言、工夫されたノート作りなどを評価に加える。学年末の考査は行わず、課題の提出で評価する</li> </ul>
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

<p>この授業は、受験(就職、公務員を含む)対応するために用意された科目です。知識を定着させるために問題集を使った授業をしますが、大切なことは反復です。問題集を授業だけで使うのではなく、自ら繰り返し解答していくことで力が付いてきます。また、予習をして授業に臨むことも知識の定着に繋がりますので、君達自身が主体的に取り組んでくれることを期待します。</p>
---